

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 天龍製鋸株式会社
 コード番号 5945 URL <http://www.tenryu-saw.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正尚

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 利彦

TEL 0538-23-6111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 5,209 | 20.1 | 492 | 228.6 | 530 | 122.3 | 339 | 74.3 |
| 22年3月期第3四半期 | 4,337 | △34.1 | 150 | △85.3 | 238 | △77.6 | 194 | △66.2 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 63.83 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 36.10 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 20,721 | 18,816 | 90.8 | 3,948.54 |
| 22年3月期 | 21,514 | 19,840 | 92.2 | 3,685.65 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 18,816百万円 22年3月期 19,840百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 25.00 | 25.00 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 23年3月期 (予想) | | | | 25.00 | 25.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,800 | 9.7 | 560 | 66.8 | 650 | 47.8 | 440 | 30.0 | 84.75 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 5,573,817株 22年3月期 5,573,817株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 808,337株 22年3月期 190,756株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 5,319,811株 22年3月期3Q 5,395,811株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) セグメント情報 | 7 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| 4. (参考) 四半期財務諸表 (個別) | 9 |
| (1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別) | 9 |
| (2) (参考) 四半期損益計算書 (個別) | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、アジアなど新興国での高い経済成長に加え、先進各国での経済政策効果などを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、わが国経済は、円高の進行・エコカー補助金の終了による生産調整などから依然として予断を許さない状況で推移しております。

このような状況のもと、住宅関連産業においては国内では新築住宅着工戸数の底入れ感がみられるものの、米国市場の回復の遅れから依然低水準で推移いたしました。自動車関連産業においては中国など新興国や北米市場向販売の増加に伴って堅調に推移いたしました。

この結果、連結売上高は5,209百万円（前年同期比20.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益492百万円（前年同期比228.6%増）、経常利益530百万円（前年同期比122.3%増）、四半期純利益339百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は緩やかな回復基調を見せているものの、当社グループを取り巻く経済環境は各国財政問題・為替の動向等が不透明なため、平成22年5月13日に公表いたしました平成23年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想の修正を行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部を除き、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

3. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

前連結会計年度末以降、経営環境等・一時差異等の発生状況に、繰延税金資産の回収可能性の判断に影響を及ぼす程度の著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,528,181 | 3,623,637 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,640,027 | 1,669,001 |
| 有価証券 | 999,850 | 1,700,450 |
| 商品及び製品 | 1,026,854 | 1,153,012 |
| 仕掛品 | 292,539 | 306,987 |
| 原材料及び貯蔵品 | 509,321 | 501,148 |
| 繰延税金資産 | 123,883 | 138,263 |
| その他 | 134,424 | 204,206 |
| 貸倒引当金 | △1,491 | △3,425 |
| 流動資産合計 | 8,253,589 | 9,293,281 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,445,677 | 1,519,546 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,019,002 | 1,991,655 |
| 土地 | 2,201,820 | 2,204,349 |
| その他(純額) | 87,898 | 333,322 |
| 有形固定資産合計 | 5,754,399 | 6,048,873 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 9,727 | 13,590 |
| 投資有価証券 | 5,812,627 | 5,268,305 |
| 出資金 | 95,330 | 80,138 |
| 長期前払費用 | 288,616 | 308,911 |
| その他 | 539,392 | 528,306 |
| 貸倒引当金 | △31,770 | △27,033 |
| 投資その他の資産合計 | 6,704,197 | 6,158,627 |
| 固定資産合計 | 12,468,323 | 12,221,091 |
| 資産合計 | 20,721,913 | 21,514,373 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 406,282 | 226,526 |
| 未払法人税等 | 65,590 | 32,498 |
| 賞与引当金 | 69,370 | 119,946 |
| その他 | 325,926 | 361,342 |
| 流動負債合計 | 867,169 | 740,313 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 733,884 | 689,541 |
| 退職給付引当金 | 178,933 | 160,251 |
| その他 | 125,243 | 84,203 |
| 固定負債合計 | 1,038,061 | 933,995 |
| 負債合計 | 1,905,231 | 1,674,309 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 581,335 | 581,335 |
| 資本剰余金 | 552,747 | 552,747 |
| 利益剰余金 | 19,354,870 | 19,101,501 |
| 自己株式 | △1,625,799 | △507,176 |
| 株主資本合計 | 18,863,153 | 19,728,407 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 385,199 | 312,467 |
| 為替換算調整勘定 | △431,670 | △200,810 |
| 評価・換算差額等合計 | △46,470 | 111,656 |
| 純資産合計 | 18,816,682 | 19,840,064 |
| 負債純資産合計 | 20,721,913 | 21,514,373 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 4,337,894 | 5,209,804 |
| 売上原価 | 3,014,876 | 3,519,185 |
| 売上総利益 | 1,323,018 | 1,690,619 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,172,974 | 1,197,632 |
| 営業利益 | 150,044 | 492,986 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43,685 | 42,617 |
| 受取配当金 | 53,708 | 53,969 |
| 助成金収入 | 47,164 | 6,349 |
| その他 | 12,173 | 5,799 |
| 営業外収益合計 | 156,731 | 108,737 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 3,570 | 59,987 |
| 休業費用 | 59,658 | 7,898 |
| その他 | 4,763 | 2,948 |
| 営業外費用合計 | 67,993 | 70,834 |
| 経常利益 | 238,782 | 530,889 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 53,581 | 591 |
| 投資有価証券売却益 | 2,511 | — |
| 会員権償還益 | 500 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 28 | — |
| 償却債権取立益 | — | 192 |
| 特別利益合計 | 56,621 | 783 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 766 | 283 |
| 固定資産除却損 | 1,115 | 3,997 |
| 投資有価証券評価損 | — | 2,570 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,513 | 2,515 |
| 特別損失合計 | 6,395 | 9,366 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 289,008 | 522,305 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 44,699 | 171,520 |
| 法人税等調整額 | 49,503 | 11,237 |
| 法人税等合計 | 94,203 | 182,757 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 339,548 |
| 四半期純利益 | 194,804 | 339,548 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び子会社は、事業の種類を大別すると、「鋸・刃物類」「鋸・刃物関連の機械器具」「不動産賃貸」に分類されますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「鋸・刃物類」の割合が、いずれも90%を超えているため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

| | 日本 (千円) | 中国 (千円) | アメリカ (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|------------|------------|--------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 3,658,414 | 179,797 | 499,682 | 4,337,894 | — | 4,337,894 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 398,200 | 782,614 | 377 | 1,181,192 | (1,181,192) | — |
| 計 | 4,056,615 | 962,411 | 500,060 | 5,519,087 | (1,181,192) | 4,337,894 |
| 営業利益 | 10,552 | 62,558 | 19,288 | 92,399 | 57,645 | 150,044 |

(注) 国または地域の区分の方法は、当社及び連結子会社の所在国によっております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

| | 東南アジア | 北アメリカ | ヨーロッパ | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|---------|---------|---------|--------|-----------|
| I 海外売上高(千円) | 477,305 | 499,682 | 141,260 | 65,425 | 1,183,675 |
| II 連結売上高(千円) | | | | | 4,337,894 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 11.0 | 11.5 | 3.3 | 1.5 | 27.3 |

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

① 東南アジア……中国・韓国・タイ

② 北アメリカ……アメリカ

③ ヨーロッパ……ドイツ・フランス

④ その他……オーストラリア・ニュージーランド

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に鋸・刃物類を製造・販売しており、国内においては当社が、海外においてはアジア、アメリカ等の各地域の現地法人が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品については各地域において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」「アジア」「アメリカ」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|-----------|-------------|-----------------------|
| | 日本 | アジア | アメリカ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,132,132 | 463,736 | 613,935 | 5,209,804 | — | 5,209,804 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 625,887 | 913,273 | 552 | 1,539,713 | △1,539,713 | — |
| 計 | 4,758,019 | 1,377,010 | 614,488 | 6,749,518 | △1,539,713 | 5,209,804 |
| セグメント利益 | 268,578 | 156,540 | 40,931 | 466,050 | 26,936 | 492,986 |

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

| | (単位：千円) | |
|----------|------------------------------|--------------------------------------|
| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 6,691,347 | 7,938,646 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,476,877 | 4,693,751 |
| 無形固定資産 | 9,647 | 13,327 |
| 投資その他の資産 | 8,332,901 | 7,723,888 |
| 固定資産合計 | 12,819,426 | 12,430,967 |
| 資産合計 | 19,510,773 | 20,369,614 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 757,939 | 746,464 |
| 固定負債 | 1,077,390 | 977,199 |
| 負債合計 | 1,835,329 | 1,723,663 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 17,290,244 | 18,333,482 |
| 評価・換算差額等 | 385,199 | 312,467 |
| 純資産合計 | 17,675,444 | 18,645,950 |
| 負債純資産合計 | 19,510,773 | 20,369,614 |

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第3四半期累計期間】(参考)(個別)

| | (単位：千円) | |
|--------------|--|--|
| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
| 売上高 | 4,056,615 | 4,758,019 |
| 売上原価 | 3,075,474 | 3,516,311 |
| 売上総利益 | 981,140 | 1,241,708 |
| 販売費及び一般管理費 | 970,588 | 973,129 |
| 営業利益 | 10,552 | 268,578 |
| 営業外収益 | 145,703 | 150,950 |
| 営業外費用 | 83,729 | 79,627 |
| 経常利益 | 72,526 | 339,902 |
| 特別利益 | 56,051 | 4 |
| 特別損失 | 6,356 | 7,501 |
| 税引前四半期純利益 | 122,222 | 332,404 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,709 | 121,135 |
| 法人税等調整額 | 28,444 | 1,307 |
| 法人税等 | 43,154 | 122,443 |
| 四半期純利益 | 79,067 | 209,961 |